

# 地鎮祭式次第

## 一、修祓の儀

修 祓  
神事を始める前に神籬（神様の依代）、お供え等 又、神事に参列する人々を祓い清める儀式  
まず、祓詞を白す この間、一同ご起立ご低頭頂く 次に、大麻にて神籬、神饌（お供え）  
玉串、鎮物、散供用具、鎌、鍬、鋤、次に参列者を祓う（お祓いを受ける際は、ご起立ご低頭頂く）

## 一、降神の儀

降 神  
齋場に神様をお招きする儀式

## 一、献饌

献 饌  
降神詞を微音で奏し警蹕を行い依代となる神籬に神様をお招きします  
（この間、一同ご起立ご低頭頂く）（「おー」と長く声を発する事）  
神様にいろいろな食物や飲物などを お供えする儀式

## 一、祝詞奏上

祝詞奏上  
地鎮祭では、略儀にて瓶子（酒の入っている容器）、水玉（水が入っている容器）のふたを開けて済ます場合が多い

## 一、四方清祓

四方清祓  
神祭りの際に神主が独特の文体をそなえた言葉を神様に対して唱える儀式  
（この間一同ご起立ご低頭頂く）  
地鎮祭の祝詞では起工する事によって、施主を初め工事関係者に、いろいろな災害が起きないよう又、計画通り順調に工事が進み、りっぱな建物が竣工するよう、さらには、竣工後も大神様の厚きご加護を頂き、皆様方の末永い ご隆昌をお祈りしております  
敷地を祓い清める儀式 尚、式次第では省略しているが散供と言い東北、東南、西南、西北のそれぞれの守護神様に米、酒、塩などの、お供えを散き最後に齋場の中央もしくは盛砂の部分に祓い清める

## 一、草刈初の儀

草刈初 鎌入  
※ 清祓の時に施主、又は施工の方が一名お手伝い頂く  
工事を始める前に現地に生えている草を刈り取る儀式  
（福井では一般に施主が行う事が多い）  
齋場に盛砂をして草、又は代用の物を植えておくこと  
施主は神主より鎌を受け取り神前に一礼の後 盛砂の前進み草を刈り取る所作を三回  
行い草を抜き取り もう一度神前に一礼をして神職に鎌を返す

## 一、穿初の儀

穿初 鍬入  
※ 鋤入

## 一、鎮物埋納の儀

鎮物埋納  
起工することにより土地の神様が荒ぶる神にならぬよう宝物などを土地の神様にお供えする儀式 神事の中では盛砂の所にて略儀にて埋納するが祭典終了の後施工はこれを預かり主要建物が建つ中央に地中深く埋納する事  
神主が盛砂の前進み鎮物を埋納した後祈念詞を唱える  
玉串を神前に供え工事の無事安全を祈願する  
玉串は神の枝に紙垂を結んだもので神様御霊と参拝者の魂を結ぶものとされています  
拝礼の作法は神主より玉串を受け取り神前に進み、玉串の根元の方を神前に向け祭壇の上に供え二礼二拍手一礼の作法をもってお参りする  
神様が召し上がったお供え物をお下げする儀式  
献饌と同様に略儀にて瓶子、水玉のふたを閉める

## 一、玉串奉奠

玉串奉奠  
玉串を神前に供え工事の無事安全を祈願する  
玉串は神の枝に紙垂を結んだもので神様御霊と参拝者の魂を結ぶものとされています  
拝礼の作法は神主より玉串を受け取り神前に進み、玉串の根元の方を神前に向け祭壇の上に供え二礼二拍手一礼の作法をもってお参りする  
神様が召し上がったお供え物をお下げする儀式  
献饌と同様に略儀にて瓶子、水玉のふたを閉める

## 一、昇神の儀

昇 神  
お招きした神々を元の磐座（神様のお住い）にお帰しする儀式  
昇神詞を奏し警蹕を行う（この間一同ご起立ご低頭頂く）

## 一、直会

直 会  
神様にお供えした酒、するめを神事に参列した人々で頂くことで神人共食となります  
つまり神様と同じ物を食べて霊的な契りを結び さらに大神様のご加護を頂く儀式  
神事が終了した後、神主が神前よりご神酒を下げ業者の方に渡しますので、係りの方は参列者にお配り頂き神主の発声により祝杯をあげる